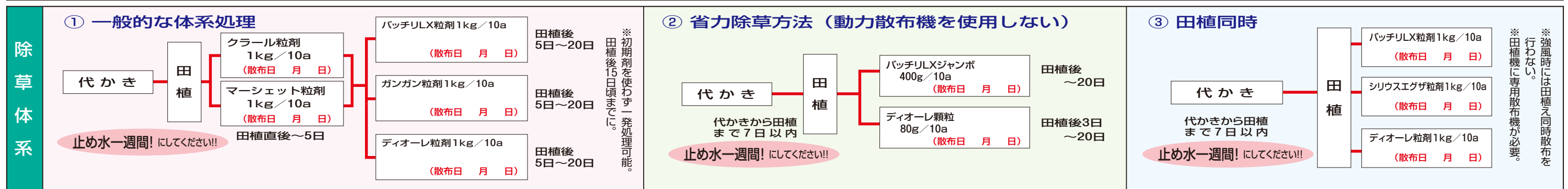


[illegible]

施肥体系

＜省力化一発体系＞					
基肥	肥 料 名	施肥料（10a）	N	P	K
	BB新早生一発くん	35～45kg	8.4～10.8kg	5.2～6.7kg	2.8～3.6kg
	BB早生一発くんDX28	35～45kg	9.8～12.6kg	4.5～5.8kg	3.1～4.0kg
	BB早生一発くんNEO	35～45kg	9.8～12.6kg	2.4～3.1kg	3.1～4.0kg
中間追肥	珪酸加里プレミアム	40kg	—	—	8.0kg

＜分施肥体系＞						
基肥	肥 料 名	区 分	施肥量（10a）	N	P	K
	BB056号	全層	35～40kg	3.5～4.0kg	8.8～10.0kg	5.6～6.4kg
	BB003号	側条	35～40kg	3.5～4.0kg	7.0～8.0kg	4.6～5.2kg
中間追肥	珪酸加里プレミアム	全層	40kg	—	—	8.0kg
穂肥	ゆめみ 優米味R	穂肥1回目 （出穂前23日）	16kg	2.6kg	0.8kg	1.6kg
		穂肥2回目 （出穂前10日）	21kg	3.4kg	1.1kg	2.1kg
		合 計	37kg	6.0kg	1.9kg	3.7kg
	有機入りいしかわ穂肥一発055	穂肥1回施用 （出穂前23日）	27kg	5.4kg	1.4kg	4.1kg

3月 うまい・きれい米づくりのスタートです。

☆営農のポイント

- ・種子消毒
テクリードCフロアブル 200倍 24時間浸漬
- ・浸種
水温と浸種期間

水 温	7℃	10℃	15℃
浸種期間	18日間	13日間	9日間

- ・催芽
催芽温度 30℃
催芽程度 芽が1mm程度で、揃っている。

7月 生育環境を良くし、良質穂をつくる。紋枯病に注意

☆営農のポイント

- ・穂肥 第1回穂肥診断の目安（出穂23日前）

	葉色	葉の状態	施用時期	施用量
条間が手前から20～30mくらいまで見える	3.9以下	立つひらつく	標準(1mm)	やや多く
	4.0	立つひらつく	標準(1mm) 1～2日遅く	標準量
	4.1以上	立つひらつく	1～2日遅く	減らす
条間が見えない	3.9以下	立つひらつく	標準(1mm) 1～2日遅く	標準量
	4.0	立つひらつく	標準(1mm) 1～2日遅く	減らす
	4.1以上	立つひらつく	1～2日遅く	減らす

- ・水管理
中干し後、3～4日間ごとに通水（間断通水）
フェーン時には通水し、水分補給する。
夜間通水し、稲体の活力維持に努める（高夜温が続く場合）
- ・病害虫防除
葉いもち、紋枯病の発生に注意
葉いもち…ブラシン粉剤DL 4kg/10a
紋枯病…リンバー粒剤 3～4kg/10a
稲こうじ病…Zボルドー粉剤 3～4kg/10a
- ・畦畔・農道除草（カメムシ類対策）
集落ぐるみで行う。（7月10日まで）



幼穂形成期にはキチッと穂肥の入る『うち（条間）』の見える稲に仕上げよう。

最近多発しているカメムシ



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ成虫

4月 米づくりは苗づくりから。

☆営農のポイント

- ・播種
播種量 120g/箱



120g播きで健苗育成

・育苗管理

	温度管理	灌 水
緑化期 (1～4日後)	・昼20～25℃ ・夜15～20℃以上	・覆土の持ち上がりや箱のズミが白く乾いた時だけ灌水する。
硬化期前期 (5～9日後)	・昼20℃前後 ・夜10℃以上	・午前10時頃までに行う ・晴天の日の朝は十分に行う ・雨天の日は床土の乾き具合に応じて
硬化期中期 (10～15日後)	・昼15～20℃ ・夜10℃以上	・朝方ムラなく十分に行う
硬化期後期 (16日～)	・外気温にならず 田植え8～10日前	・床土が乾きやすいので、朝屋2回必要な場合があるので注意。
田植え4～5日前	・夜間も換気	

※（ ）内はハウス搬入後日数

8月 葉・茎・根の活力が決め手です。

☆営農のポイント

- ・水管理
出穂後は、「1日通水後、2～3日落水」を繰り返す。
圃場では、少し足が沈む程度の湿潤状態を保つ（飽水管理）
フェーン時や強風時は、早急に入水する。
地域ぐるみで計画的な通水に努める。

圃場の過乾燥は、着色米の要因!! こまめな水管理を!!

9月 うまい・きれいの総仕上げ。

☆営農のポイント

- ・水管理
刈り取り5日前まで、通水管理を続ける。
- ・適正な乾燥調整
乾燥中の穀温35℃以下を目安
こまめに水分を測定
肌ずれ米防止（水分過多や高温粉は粉すりしない）
適正な網目を使用（1.90mm LL網）

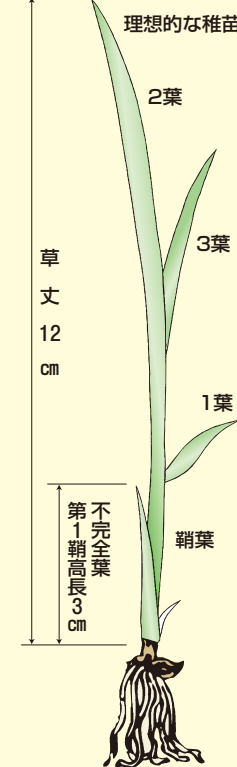


刈取適期のめやす

刈取 7～10日前

刈取 適期

5月 苗づくりから稲づくりへ。



☆営農のポイント

茎が増えやすいので、過繁茂（できすぎ）に特に注意する。

- ・田植時
植付株数60株を基本とする。
植付本数3本～4本とし、1～2本の株があっても補植しない。
- ・田植直後
植傷みを防ぐため、深水管理とする。
- ・活着後
低温・強風時以外は浅水管理とする。
- ・田干し
5月下旬の温暖な日に2～3回落水する。
- ・溝切り準備
5月末に溝切り準備にとりかかる。

中干しは早めに!! 6月初旬(15～17本/株が開始時期)
出来過ぎは、乳白、倒伏の要因!!

10月 稲刈りあとから始まります。

☆営農のポイント

- ・土づくり（10月中旬までに耕起）
稲わらの全量鋤込み（稲わら600kgは、堆肥1tに相当）

「売れる米」づくりは土づくりから!!

BB早生一発くんは、省力化肥料ですが、穂肥の肥効部分には、リン酸・カリが含まれていません。毎年施用すると地力低下を招きますので、必ず収穫後は土づくりを実践して下さい。

肥 料 名	施用量(10a)
ダイナマイトソイル	100Kg
パワフル大地	60Kg

深耕(15cmをめざす)

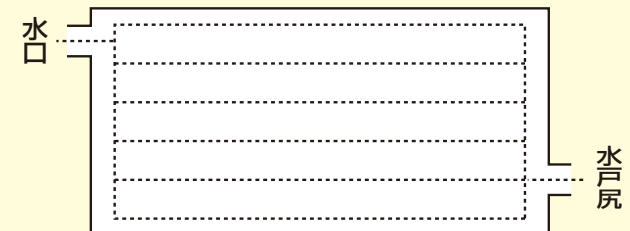
6月 今月が勝負どころ。

☆営農のポイント

- ・溝切り
6月3日頃から溝切りスタート



溝切りは、入水落水を容易にします。



- ・中干し
6月末頃まで中干しを続ける。

- ・珪酸加里の施用
稲体の健全化のため、珪酸加里を40kg/10a施用する。

- ・畦畔・農道の除草
カメムシ類の生息場所をなくす。



トゲシロホシカメムシ(幼虫)

【畦畔で使用可能な除草剤一覧】 . . . 現在

除草剤名		水 稲		
		耕 起 前	畦 畔	収 穫 後
ラウンドアップ マックスロード	登録有無	○	○	○
	使用回数	2回 ※注1	2回 ※注1	1回
	使用時期	耕起前まで	収穫前日まで	収穫後
タッチダウンQ	登録有無	○	○	○
	使用回数	1回 ※注1	2回 ※注1	1回
	使用時期	耕起前まで	収穫14日前まで	収穫後
サンフーロン	登録有無	○	○	○
	使用回数	1回 ※注1	2回 ※注1	1回 ※注1
	使用時期	耕起20～10日前	収穫14日前まで	収穫後
ザクサ液剤	登録有無	○	○	○
	使用回数	1回	2回	1回
	使用時期	耕起前まで	収穫7日前まで	収穫後
ブリグロックスL	登録有無	○	○	○
	使用回数	1回 ※注2	5回	1回 ※注2
	使用時期	耕起1ヶ月～直前	雑草生育期	収穫後
カーメックス顆粒	登録有無		○	
	使用回数	雑草発生前～雑草撤期	1回	X
	使用時期		雑草発生前	
MCPソーダ塩	登録有無		○	○
	使用回数	X	3回	1回
	使用時期		収穫14日前まで	収穫後10日以内

※注1：ラウンドアップマックスロードとタッチダウンQ、サンフーロンには同一成分が含まれていますので、3割合わせての回数です。
※注2：ブリグロックスLは、収穫後もしくは耕起前のどちらか1回使用可。

～しっかり記帳、安全・安心 米づくり～